

長期ビジョン「16Vision-10」

(2023年4月～2033年3月)

一歩先を行き、
いつも地域の力になる

16 Group Energy

存在意義(パーパス)を原動力として、
「サステナブル(社会的価値の創出)」
「グロース(経済的価値の創出)」を実現し、
地域社会(お客さま・従業員・株主)に貢献する。



社会課題の解決

- 持続可能な社会づくりへの貢献
- 地域における生活の質の向上

事業の成長

- 新規事業領域へのチャレンジ
- 従業員の成長・活躍

■ 地域・社会の先駆者(フロントランナー)へ

第2次中期経営計画

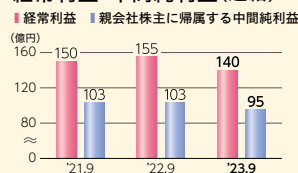
(2023年4月～2028年3月)

一歩先を行き、いつも地域の力になる ～1st stage～
スピード感のある変革に挑戦し、新たな価値を創造する5年間

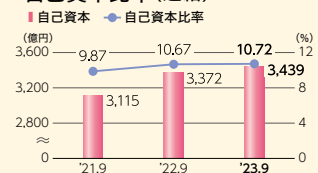


業績ハイライト

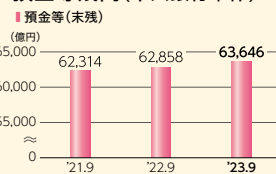
● 経常利益・中間純利益(連結)



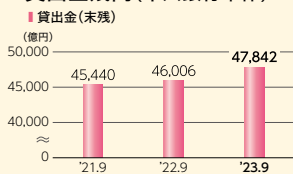
● 自己資本比率(連結)



● 預金等残高(十六銀行単体)



● 貸出金残高(十六銀行単体)



※当社は2021年10月1日設立のため、十六フィナンシャルグループ連結の2021年9月期の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結決算の計数を記載しています。

株式情報

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金	期末配当は、毎年3月31日を基準日として、取締役会決議後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会については毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告といたします。 当社ホームページ(https://www.16fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

株主優待制度

当社では、株主のみなさまの日頃のご支援およびご愛顧にお応えるため、下記のとおり「株主優待制度」を実施しています。

夏の株主優待 基準日 3月31日

対象/ 当社株式を100株以上保有の株主さま



ナチュラルミネラルウォーター
「高質の森水」1箱(500ml×24本)

冬の株主優待 基準日 9月30日

対象/ 当社株式を500株以上保有の株主さま



地元の名産品等の中から1点選択

Profile

商号	株式会社十六フィナンシャルグループ
所在地	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理 ならびにこれに付帯関連する一切の業務 ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
資本金	360億円
設立日	2021年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミア市場 (証券コード:7380)

十六フィナンシャルグループのホームページはこちら▶
<https://www.16fg.co.jp/>



発行: 株式会社 十六フィナンシャルグループ グループ企画統括部

岐阜市神田町8丁目26番地 TEL(058)207-0016(代)

発行日: 2023年11月30日



有害な廃液が出ない
環境にやさしい
印刷方式です。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六フィナンシャルグループ

トップメッセージ



代表取締役社長

池田直樹

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループの営業の概況やトピックスを要約した報告書「16Report」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

私たちを取り巻く環境は、人口減少や超高齢社会の進展などの日本固有の課題だけでなく、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による生活様式の変容などにより劇的に変化しており、先が読めない時代に入っています。こうした時代においては、将来を予測するのではなく、私たち自身の意思で未来を創っていくことが大切です。

このような考えのもと、当社グループは2023年4月より長期ビジョン「16Vision-10」と、第2次中期経営計画「一步先を行き、いつも地域の力になる～1st stage～」をスタートしました。

10年後のなりたい姿である長期ビジョン「16Vision-10」のテーマは「一步先を行き、いつも地域の力になる」としました。

140年超の歴史を有する十六銀行が培った、広く深い顧客基盤や日々集積する情報、張り巡らされた人的ネットワークを活用するとともに、事業領域の拡大などの環境整備を強みとして、常に一步先を行き、いつも地域の力になる地域総合金融サービスグループとなることで、「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」に貢献してまいります。

みなさま方におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トピックス

NOBUNAGAサクセッションの設立

2023年7月3日、地域企業の経営承継問題の解決に貢献し、地域経済の持続的成長を支援することを目的に、株式会社日本M&Aセンターホールディングスとの合併会社として「NOBUNAGAサクセッション株式会社」を設立し、事業を開始しました。

地域の事業者のみなさまの後継者不在などの様々な課題に対し、より最適解決策をご提供できるよう経営承継支援に取り組んでいきます。



開業記念式典でのテープカットの様子
十六FG：池田社長（中央）、日本M&AセンターHD：三宅社長（右）、NOBUNAGAサクセッション：福井社長（左）

「岐阜市本庁舎跡活用事業」優先交渉権者への選定

当社は、岐阜市が推進する「岐阜市本庁舎跡活用事業」の趣旨に賛同し、公募型プロポーザルへ参加した結果、優先交渉権者に選定されました。

今後、岐阜市が掲げる「持続可能なまちの実現に向けた、活力の源となるにぎわいをつなぎ、にぎわいづくりを支える空間の形成」の実現に向けて取り組んでいきます。



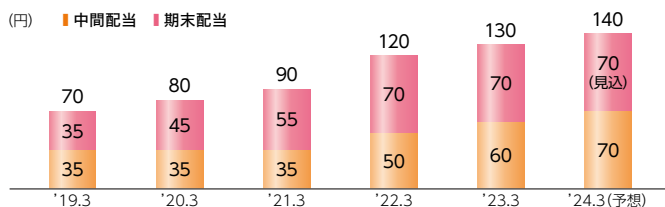
南西方向からの鳥瞰図

岐阜市との基本協定締結の様子
岐阜市：柴橋市長（左）、十六FG：池田社長（右）

株主還元の充実

当社は、2024年3月期の中間業績と株主還元方針を踏まえ、中間配当を前年同期の1株当たり60円から10円の増配となる1株当たり70円といたしました。これにより、年間配当予想は1株当たり140円となり、5期連続の増配となる予定です。

今後も財務体質の一層の向上をはかりつつ、株主還元の充実をはかってまいります。



サステナビリティへの取り組み

サステナビリティKPIの進捗

サステナビリティへの取り組みを一層推進していくために、5つの重点課題（マテリアリティ）に対して設定した「サステナビリティKPI」はいずれの項目も順調に進捗しています。

●2030年度までの目標

重点課題	項目	数値目標	実績 2023年9月末
地域経済の活性化	サステナブルファイナンス実行額（うち環境分野）	2兆円 (8,000億円)	3,452億円 (1,193億円)
	グループ預り資産残高	5,500億円	3,973億円
地域社会の持続的発展	ソーシャルインパクト投資	20億円	3.1億円
	DX支援コンサルティング件数	3,000件	245件
環境保全と気候変動対策	CO ₂ 排出量（2013年度比）	100%削減	47.3%削減
	紙使用量（2019年度比）	50%削減	32.7%削減
多様な人材の活躍推進	女性管理職比率	20%	8.1%
	有給休暇取得率	80%	28.6%

●継続的に取り組む目標

重点課題	項目	数値目標	実績 2023年9月末
ガバナンスの高度化	危機発生時における初動対応訓練の実施	年2回以上	4回
	投資家との対話	年10回以上	16回

CO₂フリー電気の導入拡大とカーボンニュートラル達成時期の前倒し

当社グループは、2023年10月より十六銀行電算センター・事務センタービルで使用する電力を、CO₂フリー電気に切り替えました。

すでに、十六銀行本店ビルでは2021年11月より、CO₂フリー電気を導入しており、今回の切替えによりさらに年間約1,352tのCO₂排出量の削減が見込まれます。

また、当社がサステナビリティKPIに掲げる「2030年度までにCO₂排出量を2013年度比50%削減する」目標については、2023年度中に概ね達成する見込みとなったため、カーボンニュートラルの達成時期についても2050年度から2030年度へと前倒しました。

●CO₂排出量（Scope1、2）

